

ハートコミュニケーション

# 栄八通信

第 22 号

① 4 7 10 月末発行



武雄市議会議員

宮本 栄八  
TEL・FAX 23-0750  
携帯 090-5083-0793

## 謹賀新年



平成十七年が  
市民の皆様にとってよき年  
でありますようお願いしております  
新年に当り市民の代理である議  
員として今年の活動も目標をお  
伝えします。

日本一高い水道料を施設統合  
効率化で低減へ

百年かかる、遅い下水道計画を見直し  
浄化槽の市設置型で市民負担軽減

県立高校再編について、市民の  
望む地元案の作成と提案

1市2町合併での行政のスリム化に  
よる市民サービス向上と負担の軽減

民間委託や企業誘致で  
若者・中高年の雇用の拡大

### (武雄市・山内町・塩田町・嬉野町)の 1市3町の分権型合併から

## 武雄市・山内町・北方町の 1市2町の集中型合併へ



### 北方町加入問題

平成15年6月に発足した、武雄・山内・嬉野・塩田の1市3町の合

併協議会が、平成16年11月10日までの約1年半新市について28回熱心に話し合われたが、名称で解散。しかし、どうにか、武雄・山内・北方の枠組みで、3月の議決と県申請で合併の見通しがたった。

一方、北方の動きとしては、北方町の黒岩議長が、11月4日の枠組変更の臨時議会の傍聴にいられた。しかし、黒岩議長は、H14年4月にあった、山内町長選挙の時、武雄市との合併を目指す、永尾氏ではなく、杵島6町との合併を目指す八坂氏を強力に応援され、財政状況の悪い武雄市と組む永尾方針を批判広報をされていたのを見て以前カチンと来ていた。

また、北方の松本町長も、杵島北部3町を離脱し、単独の方針を7月ごろ出されていたので、北方の合併参加は頭に浮ばず、武雄市と山内町の一市一町合併を想定していた。他の議員も、11/8の特別委員会、北方参加を初めて知り、北方を加えることで、再び波乱要因が増えるとして、仲介役をした、谷口議長に、批判が集中した。

しかし、北方の黒岩議長が、1市3町の協定項目を見て、「内容に特に問題はなく、丸飲みしても良い」との発言があり、松本町長も臨席していたとの説明で、議員も一応の納得をした。

また、同じ説明の中で、谷口議長が、北方からの意向を受けて、山内の返答を待って、調整に入った様な発言があった。たぶん、これが、黒岩議長が、以前、永尾町長への批判を水に流し、北方との合併に賛同するかの返答だったと思われる。

私は、北方の松本町長の本意についても知るべく、

北方町の町民説明会に行ったが、主旨は、基金もまだあり8年先まで良いが、その先が分からないので、合併を選択した。また、国道498号の出口も北方にゆけ、武雄の東部開発も北方方面に進んでいるので、将来発展できる。と言

う説明であり住民からは、税金や公共料金についての質問があつていたが、時間をかけて統一との説明に、強い反対はなかった。北方の議長も町長も、合併に向きであることはまちがいないさうだ。しかし、北方の松本町長が、今回の合併協の副会長に就任しなかった、意図が何なのか？古庄会長は、取り立てて理由はないと言われるが、常識的に考えて、おかし。合併に距離を置く行動でない事を望みたいし、時間もないので、住民が疑念をいだくような動きは、さけてもらいたい。

### タイムリミット問題

17年3月議決し県申請まで、実質1ヶ月半で、協議会もあと2回である。そこで全部の項目を決められるかの問題がある。

だから、昨年の湯陶里市名称問題の時に、賛否両方の議員が、夏までに方針を明確にせよと、市長に迫っていたが、11月になり決断されたので、そのつけが回ってきた。やはり、無意味な水面下交渉だったのではないかと思う。

一方、協定項目は、1市3町の時は、55項目だったが、今回の1市2町では、24項目にしばらくはいる。その違いを簡単に説明すると、もともと、25項目めからの30項目は、税や上下水道・ごみ・商工農林・学校など市役所の仕事関係で、今回、23項目の「各種事務事業」に一本化、あと大項目としていた、男女共同参画と土地開発公社については関係項目に編入させてあるらしい。

ただ県への申請時に、絶対決

ておく必要があるのは、市の名称や議員定数及び任期、新市建設計画などの11項目だけと言う。

それなら、議員関係を法定数30人の大選挙区でまとめれば合併自体はどうか間に合う。

新市発足の日だが、特例法の期限では、H18年3月31日までである。

しかし、武雄市長の任期が、H18年3月5日までで、それ以前に合併しないと、現武雄市の市長選挙をしなければならぬので、費用面からも、H18年3月1日の合併が都合が良い。3月議会ではなく、新年度予算については、暫定予算になると言う。

### 議会可決の問題

合併の一般的情報は、「合併だより」を見て下さい。

ところで、市議会の3月議決については、古庄市長が、前回の様な方針転換をしなければ、24人中の過半数は賛成と見る。別にも、議員の任期について、合併議決は、H17年3月だが、新市発足は、H18年3月1日で、1年間の猶予があり、実質的には、各地でされた、在任特例と同じ形であり議員の抵抗感も少ないと見る。

また、北方町の参加で、議員の競争率も上りそうだが、現在の24人が、人口5万人になり、法定数が、30人になるため、そこへの抵抗感も少ないと見る。そこで、私が心配することは、協議会があつて2回で終了する。「すべて引き継ぐ」と「合併後に調整する。」を確認するだけしかできないと思う。

また、前回は、総合支所を中心とした、自治分権型を目指したが今回は単に支所で若木より北方に近いなど議員には、集約型の新市を望む声強い。今回はそれを生かして、一体化・効率化をし、コストを減し、サービス向上を、

# 武雄市財政健全化計画（平成17年度～平成26年度）の10年間で 約45億円を確保する案提出される

## 歳入確保対策（主な方策）について

① 市 税 1億1,000万円増

◎市税の税率等の見直し（H24年度）

- ・固定資産税の見直し 1.55%→1.56%
- ・入湯税の日帰分の見直し（H24年度）
- ・徴収率の向上（保育料・住宅使用料を含む）

約0.2%目標

② 分担金・負担金

◎農林業、土木事業地元負担割合の見直し

- ・負担割合の5%アップ（H18年度事業分）
- ※災害復旧事業を除く。

③ 使用料 6,900万円増

◎文化会館・体育施設使用料の見直し（H17年度）

- ・平均10%アップ

◎観光施設関連使用料の見直し（H17年度）

- ・キルンの森利用料、スカイバス往復料金、観光ボート利用料等の見直し

◎その他行政財産関係、道路橋梁、  
商工施設等の使用料の見直し  
（H17年度）



- ・10%アップ

④ 手数料 1億4,915万円増

◎住民票等窓口交付手数料の見直し（H17年度）

- ・住民票、印鑑証明、納税証明書等  
300円→400円

◎ごみ袋代金、特別収集手数料の見直し（H17年度）

- ・10%アップ

⑤ その他の諸収入 1,000万円増

◎財産貸付収入他雑入（H17年度～）

- ・10%アップ

歳入増合計 3億6,500万円増

## 歳出削減対策（主な方策）について

① 人件費削減 29億1,600万円減

◎市4役、市議会議員、各種委員報酬の削減（H17年度）

- ・5%～10%の削減

◎議員定数の削減（H19年度）

- ・24人→16人

◎職員数の節減（H17年度～）

- 助役の収入役兼任、職員数80人減  
（270人→190人）、嘱託職員の減  
（H17年度から逐次、収入役はH20年度）



◎職員給与、管理職手当、特殊勤務手当等の削減

② 民営化・統合 19億1,800万円減

◎事務の統廃合及び縮小（H17年度～）

◎東・西川登保育所統合民営化（H17年度）

◎朝日・朝日第2保育所統合民営化

◎若木保育所の民営化（H21年度～）

◎各町公民館の管理運営の民間等への委託（H20年度）

◎文化会館の運営業務の民間等への委託（H19年度）

◎図書館・歴史資料館の管理運営の民間等への委託（H20年度）



③ 補助金節減 12億730万円減

◎納税組合奨励金及び前納奨励金の廃止（H17年度）

◎議員、特別職の費用弁償の縮小及び廃止及び政務調査費の廃止  
（H17年度）

◎職員互助会補助金の縮小（H18年度）

- ・2.5/1000→1/1000

◎市内バス運行補助事業の見直し

（日曜日、祝日運休）（H17年度）



◎89歳以上の敬老祝金の見直し、金婚式記念品支給事業の縮小廃止  
（H17年度）

◎生きがい活動支援通所事業の見直し（H20年度）

◎湯の町武雄の物産祭り事業負担金の縮小及び廃止（H17年度）

◎からくり人形の休止（H17年度）

◎保養村管理運営委託料の見直し（H17年度）

◎市単独土木・農林事業の縮小（H17年度）

◎市民農園事業の廃止（H18年度）

◎成人式記念品支給事業の廃止（H17年度）



◎ワンパクスクール事業支援の縮小及び廃止（H17年度～）

◎武雄町児童交流派遣、少年の船派遣事業支援の縮小及び廃止  
（H17年度～）

◎広域圏負担金の見直し、その他各種補助金の見直し（H17年度）

- ・運営補助金、事業補助金は、原則10%カット

◎上記以外の物件費等の削減（H17年度） ・10%カット

歳出減額合計 41億2,300万円

**合併しない場合、6億円を捻出目標**

12月に、武雄市財政健全化計画が提出された。その中の具体策の部分をダイジェスト版にした。

健全化計画は、数年ごとに提出されていますが、今回の意味合いは合併しない場合の武雄市単独の財政計画に替るものと考えられ重要性があります。

この提案について、議員の反応は、これまでになく具体的で、評価は高いようです。（実行は別）

この計画の前提として、現在、投資的事業（高架区画・学校改築・下水道等）を5～6億円分行って、H14年度までは、通常予算内でできたのが、H15年度からは、基金取りくずして事業をしている。しかし、このまま行くと、4年後のH21年には基金が底をつき行

### 基金残予測 (億円)

年度	現状	健全化
15	28	28
16	25	28
17	20	26
18	15	23
19	10	20
20	4	18
21	0	14

10年間の確保額を年にする、4億5千万円で、まだ少したりません。増加策は、3千万円で、削減策は、4億1千万円と、桁違いで、いかに、無だ使いを減すかがポイントとなります。

また、合併した場合も、この計画を生かすとの事ですが、2町にも伝え、合併の一次的な収入で気がゆるまぬよう、「できる改善・必要な改革」は着実に進めて欲しい。

# 私の質問と市の答弁

## 1 市町村合併

### ①合併特例債の利用申し出は

市長は、特例法の期限であるH17年3月議決を、十分に論議できない中でも、目指されている。

【市長答弁】  
それだけ、特例債活用が必要と言ふことと思うが、今何に使うかの決定して、利用総額を決めることは現実的には難しい。

唐津市や小城市では、総枠として約80%、白石町は約50%利用と計画してあるようだ。

いづれにしても、本当に必要な分だけ利用すべきである。

【市長答弁】  
そこで、特例債(173億円)をいづれ利用するか、国への申し出はいつまでが期限なのか？

【市長答弁】  
利用額は新市建設計画の中で明らかにされる。

合併特例期間の10年以内なら申請できるものと思う。単独費の市道など、通常の事業をできるだけ特例債事業に組み込みたい。

## 2 保健・福祉

### ①集団健診の改善

(A実施日・Bマンモグラフィなど)

A 病気の早期発見は、市民の健康や、国保会計の健全化に役立つ。毎年、6月の梅雨期・農繁期に

行われ、受診者が、片寄っているのではないかと。たまには、実施時期を変えたり、会社勤めの人に来やすくして、18日間内の1日でも、土日の検診日を作り、受診者の拡大ができないのか？

【市長答弁】  
実施時期については、年度の早期に検診し、対応を早くした方がよいと考える。また、休日検診を他市町されているが受診者は多くないと聞いている。

【私のコメント】  
やはり、アンケートを取るなりして、要望を分析すれば、まだ改善の余地は有る。

B 新聞報道によれば、乳ガンの効果的発見の方法として、X線やマンモグラフィが有効であり、法律でも義務化されると聞くが、武雄市でも、来年度から実施できるのか？

【民生部長】  
来年度から実施できるように、検討してゆく。

【武雄市民病院の新たな、経営計画の作成を】  
市民病院の経営計画書として、開設時に、2種類の計画書があり途中の経過や内容は、異なるが、共通する点は、開院の後、6年目には、単年度の黒字化するとされている。一方、開設後には、特に計画書はないが、15年の1市3町合併協に提出された、収支予測でも、H16年度黒字化となっていた。しかし、現実には、脳外科の引き上げや、診療報酬単価の引き下げなどで、H16年度も赤字である。そこで、新たな経営計画を作って経営をしてもらいたい。

【事務長答弁】  
新たな経営計画書の必要性は感じてはいるが、変動要因が大きく、計画の策定は困難。

【私のコメント】  
やはり判る範囲での収支計画は出してもらいたい。

【次世代育成プランに市民の声の反映を】  
子育て支援を目的とした、次世代のアクションプランが全国的にまた武雄市も3月までに集約される。これは、今後5年間の子育て支援の具体策を決めるもので、逆に言えば、これに盛り込めない5年間できないと思う。そこで市民の声を反映する為に審議の中間答申をしてほしい。

【私のコメント】  
やはり、アンケートを取るなりして、要望を分析すれば、まだ改善の余地は有る。

【民生部長】  
各種団体・サークルの方に委員になってもらい、話し合っている。中間報告は、計画してないので、意見・要望のある市民は、委員や福祉課に直接伝えて欲しい。

【環境問題】  
①下水道マップの見直しと市設置型浄化槽の実施は

市の水洗化率アップの切り札として、H15年の12月議会では、浄化槽の市設置型の導入を市長は「早急に決断したい」と発言された。その後、毎議会、検討中との答である。

【市の答弁】  
以前、県担当者の話では、次年度から実施する所は、すでに、12月には、事業実施の決定と住民説明を終えていると言う。このままで行けば来年度実施できるのか。

【私のコメント】  
現在、農排地区及び公共下水道地区も含めて見直している。3月までには、決論を出す。もし、実施しても、17年度計画18年度かの設置になるだろう。

【熱利用】  
佐賀市の新ゴミ処理施設は、ガス化熔融炉で、温水や電気を作るサーマルリサイクル方式だ、杵藤の耐用年数と熱利用(たとえば、

温水プールなど)できないか？

【市の答弁】  
杵藤クの耐用年数としては、埋立処分場が残り半分の8万立米あり、あと10年と見込む。熱利用は、設備費用対効果などで今考えてはいるが、温水プールについては、研究してみたい。

【ゴミ減量化への新たな取り組み】  
ごみの熱利用が望めないならば新たな、ゴミ減量化が必要である。市は今後どのような方策を考えているのか？私は、企業等が資源回収に参加できるように、平日に搬入できる方策で減量化が進むと思うが、どうか。

【市の回答】  
若木・武内等で不燃物の回収を月1回しているが、2回に増す。平日の資源回収は、ストックする倉庫が必要なので現在は考えていない。

【水道事業】  
④水道事業 (省略)

【教育行政】  
⑤教育行政

【中高一貫校問題に対する市長の考え】  
高校再編に伴う教育環境の変化は、遠距離通学の問題など、教育問題のみならず、市民の行政課題でもある。市長はこの事について、どんな考えをおもちか？

【市長答弁】  
少子化で生徒の減はあるが、武雄市の子供が不利にならないように県に要望する。

【給食の牛乳容器のリサイクル】  
市が検討していた、ビン化は業者の設備と費用の関係からできないとのことだが、では、紙パックのリサイクルはできるのか？

【教育委員会回答】  
紙パックについては取り組みたいが、回収業者の確保問題もある。

【私のコメント】  
鹿島市は10年前からやっている。

# 市長提案 主な議案

## ○納税貯蓄組合報奨金廃止

昭和30年より、農村地域に多く区班等で組合を作り、市税をまとめて納付すれば市が金額等に応じて、報奨金を50年間出している。ただ、離脱した、1市3町の協定項目の中では廃止の方向だった。今回の1市2町とも納税組合はあるが、武雄市と山内町は、今12月議会で、廃止を提案し可決。

廃止の理由としての、①他人の納税額が分るプライバシー問題。②集めた税金の保管責任の問題。③右の表にある市費削減策など、それに、報奨金を組合の旅旅行費などに使用されるのが大半であるが国の納税組合の法律によれば、文具などの事務用品購入にしか使えないことが、最近の他市の住民裁判で分り早急に対応したという。議員から、組合は地域のつどいの場でもあり、納税率向上にも役立つので、継続の提案もあった。

市は、納付率低下を防ぐために郵便局やコンビニでも払込みできるようにし、徴収員2名を増員すると言う。嬉野町では、地区の職員が徴収に回っていて、収納率が良いので、武雄市も取組んでほしいとの提案もあった。

ところで、現在の報奨金は、約2600万円、未納率が1・35%以下なら市にはプラスと言う。

## ○市の商工融資金の改善

貸付限度額を、7百万円から1千万円に増したが、これは、時代に合せて、よくある改善だが、今回質的に変わったのは、市内で商工業を営んでいれば、住所は市外でも良いこと。また、借金の返済

を期限までに払えず、他銀行等から借りて返す、いわゆる借換えが可能になった。以前には、新規設備投資を助けていた制度融資であるが、今は、利用希望も減り、廃業防止策としての役割を負う。

【航空写真パネル作成費】  
H18年度に、固定資産評価替えの為に、航空写真を撮影したが、そのデータを利用して、市政50周年の記念としてパネルを作る。

現在、市の航空写真パネルは、市長応接室に市街地分、また、3階の大会議室に市全体分がある。予算は、航空写真業務の入札減の約80万円である。しかし、3月には、新武雄市合併を決議を予定し、すぐ新市のパネルも必要になる。市は、50周年の記念だから作成の意味はあるとの説明。

ただ、どこにどう展示しようとしているのかは明確でない、現在の場所では、一般市民が見る機会もないと思うが。

## ○市民病院に新たに診療科目6科増設

今回、医師会と話のついた、呼吸器科・消化器科・循環器科・リウマチ科・整形外科・こう門科の6科が追加された。

今回、増した科目は、現在、市民病院にいる医師の専門科目をすべて出した。今後の増科は特に予定はないとのこと。樋高院長を中心に、可能な事を着実に実行しているように思う。



# 杵藤クリーンセンター2度の漏水と 浄水器裁判の実質敗訴の理由

## 漏水事故

朝日町にある杵藤クリーンセンターは、ゴミの焼却施設と、その灰の埋立て処分場がある。

その処分場に、ふった雨を浸出水と言ひ、その水は、焼却炉の冷水として使う為に、外部には一切出ない方式(管理型)である。

また、浸出水は、繰返し利用される為に塩分濃度が上っていった。

それが、H10年頃、側溝に塩のかたまりが付着しているのが発見され、処分場からの漏水が判明。

大規模調査の結果、処分場底のアスファルトと周辺のゴムシートのつなぎ目に原因があるとして、約6億円をかけ改修した。

不良工事によるものと思うし、不満が多かったのが、再度、同じ業者に発注している事だった。

業者はおわびに3千万円程度を工事の中でサービスしたとのこと。

しかし、6億円中の3千万円なら、大した補償でないと思ひ、再度議員になり、建設時の契約書を見てみたが、本来の機能保障をした条項はなく、請求はできない。

今、H16年1月に、また高塩分が検出され、漏水が確認された。

前回、二重ゴムシートなど、改修したのに、なぜとの感じだったが、今回は、唯一、心配ないと思ひていた、コンクリート堤防からの漏水とのことで、これは、一面に見えるが、収縮の関係から何層かに分けて、コンクリートが打ってあり、それを止水板で連結しているが、そのすき間を通して漏水しているとして、目地の補修とゴムシートを張った。費用は約2千2百万円、もう漏水がないことを望むが、今後は、契約書に損害補償

## 浄水器裁判

要は、役に立たない浄水器に対し、損害金450万円と裁判費等150万円の計600万円を支払った、税金の無駄使い。

H10年漏水事故1回目の時に、当時の谷口副議長の仲介で、啓プロジェクトと言う会社と古庄管理者が面談し、古庄氏は、同社の開発の活性浄水器が、浸出水の塩化物イオンや濁度・色度等について除去に効果があるかたずねた。

会社は塩化物には不明である為に実験を提案し、一方、効果が上れば、処理を依頼するとした。

会社は、8月21〜24日まで実験したが、塩化物イオンには効果なく、会社は引き揚げを申し出たが明確な返答がなかった。

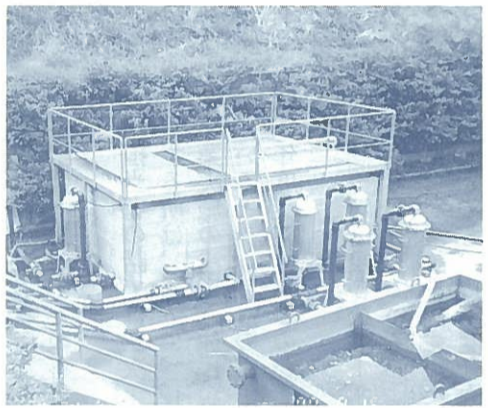
ここで、古庄管理者が、明確な指示をすれば、問題は起きなかった。

争点は、古庄管理者は、塩化分も除去できないし、会社と契約はしていないので、会社が独自に実験を続けていたとの見解。

一方、会社側は、浄水器を9月には、広域圏や有明海漁連関係者のクリーンセンター視察の時には、課長が案内して見て回ったなど、黙認し、12月予算で採用されなかった理由を、会社に「見積が高かった。もう少し安くならないか。」と市長室で言われ本格設置をした。

結局、裁判官の判断を要約すれば、会社との請負契約の成立とは認められないが、会社のみ一人勝手な行動による装置の設置、作動と言えず、むしろ、杵藤広域圏側の曖昧な態度にも、原因がある。として約2930万円の請求に対

を明確に定めるべきだ。



し、約9百万円を認めている。今回、和解の形だが、戦っても負けるとの見通しからと言う。もともと、脱塩機械の業者を集めて、機能評価し、入札すれば、避けられた、行政のミスで、最終的には、管理者の責任と思う。

## 長崎新幹線・金とルート

今、12月議会では、長崎新幹線の質問も出ている。

古庄市長は、推進的な立場で、乗り替なしで関西方面へ行けるとや、逆に客が来るとの理由。

一方、議員からは、負担の割には、単に通過駅になりメリットは少ない。フリーゲージトレインでは、結局、博多駅で、のぞみに乗り替るのではとの意見だった。

一方、今の状況は、鹿島市が同意すれば、着工するわけで、武雄市民としても、ある程度把握しておく必要がある。

まず、お金の問題で、県全体の地元負担は、180億円(新幹線事業が、150億円と肥前山口ー武雄温泉間複線化30億円)その内の武雄市負担分は、まだ未定で、複線化分は県が全額負担する。

だから私は、市の費用負担が示された時点で、判断したい。現に鹿島市は、反対運動によって、将来の市民負担を軽減した。ところで、武雄市内のルートだ

## 国道35号線と498号線の動き

最近知ったのだが、国道といっても、35号など2桁の国道は国が管理し、3桁の国道は、県が管理していると言う。

【国道35号線】 武雄市は現在、山内町と共に期成会を作り、35号線の出発の堂島交差点から、山内バイパスまでの4kmと、バイパス終点から有田境までの約1kmの改良を国に(佐賀国道事務所)に働きかけているが、進みは遅い。

最近、明らかになったのは、特に、危険箇所である、踊瀬付近のS字カーブの解消を進めている。17年度土地測量、用地取得2年、JRと協議2年、工事2年がかり、H23年完成と遅い。

私は、国道35号改良よりも、上山に、武雄35号線バイパスを作ったが、用地や移転補償等から得策だと考える。

【国道498号線】 関係者一部では、ヨンキューパーと言う。唐

が、駅を出て、竹下町から分かれて上山の若葉台地近くでトンネルに入り、東川登小の北側から国道を通り、川登中南を通り、高速を越えて、嬉野高校付近に新駅。



津から、鹿島まで、県西部を縦に結ぶ主要道路で、4市1町で期成会を作り整備の促進を要望する。

すでに、伊万里市内の松浦バイパスは若木手前まで完成している。次は、武雄市内のルートの決定である。私が前議員だった時から議論があつて約10年来の懸案となるが、最近少し明らかになって来た。若木地区については、現国道の西側に、高規格道路を作り入口を少なくし通過スピードアップを図る、朝日町に入り、戸坂峠から、国道の東側を並走して下って行く。現在用地交渉入り。

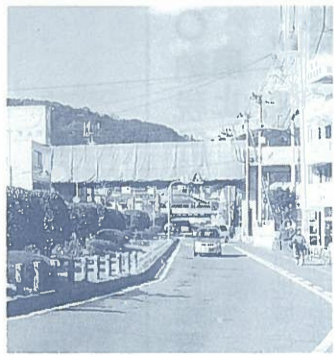
以前から、一番の問題点とされ



35号線踊瀬のS字カーブ付近

## JA武雄前の道路整備

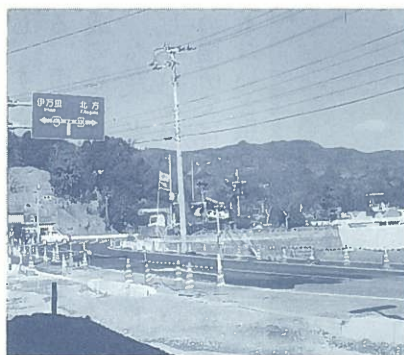
以前、JRが駅南口の幹線用地を売らなくなったことを伝えたため、先に予定していた、農協前の舗道整備をする。ここは、真中に円形の植栽帯があるが、以前、高架をしない時、西浦からトンネルで線路を越える計画用地が未実施だった。今回ここを4千万円かけ整備する。



同時に下水道管も入れる

ていたのは、朝日町の川上交差点から、どのルートで塩田方面に継ぐのかの問題で、これまで、高橋地区に新道を作る案が有力で、また川良を通る案もあった。

しかし、今回、高橋新道の費用が大きい為か、川上交差点から、北方町方面に入り大崎(ドライブイン鳥)付近に出る県道を改良し国道にする模様。ルートがはっきりしたのは、この新道を契機に街の整備をはかる考えもあったと思うので、そこについては別途考える必要も出て来た。



498号線、川上から北方へ現在県道改良中

## 制作後記とコラム

市民の皆様は、良い年を迎えられたでしょうか？

最近、「勝組・敗組」や、「ピンボ・セレブ」のいわゆる、貧富の差が、拡大しているようです。また、金のある家が、教育費をかけるので、高学歴で、高収入の職業に就くことが固定化し、封建時代の一種の身分階層の様になる傾向と聞きます。

現在の教育改革や、県立高校再編が、裕福でない子供にも学ぶ場を望めるものになって欲しいと思うところだ。

一方、合併や合理化で、経費削減していますが、その浮いた金の使道の選択も今年の重要な課題だと思ひます。間違ってもお役所が勝組で、住民が敗組にならない様に願ひます。